

春編

生きものの賑わいを保つ管理

巡回のついでにできる生きものチェック

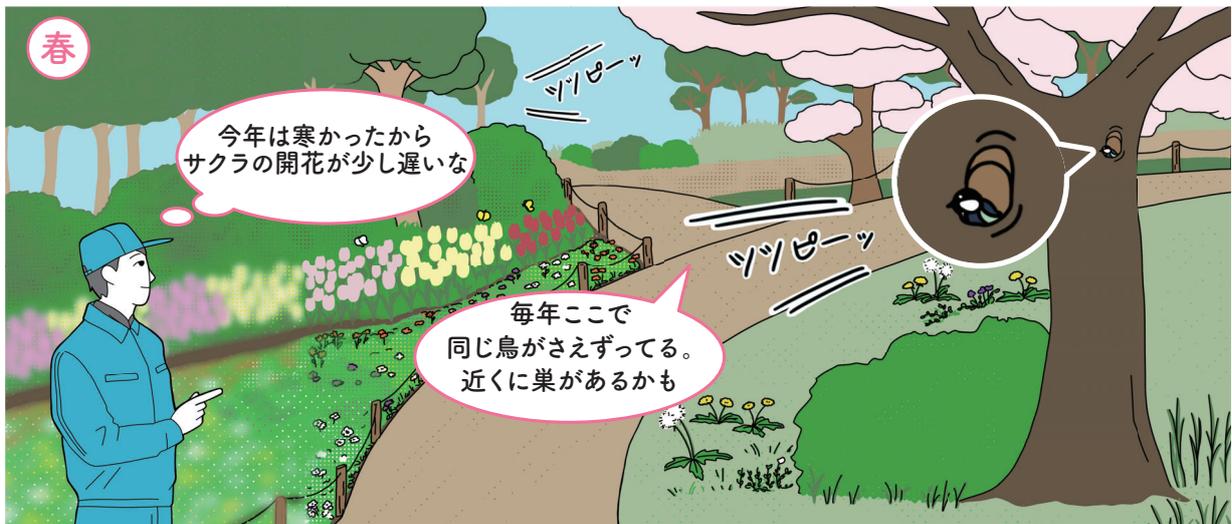


生きものの動きを知ることは、管理や作業の際に大きなヒントとなります。今回は、日常業務の中でも取り組みやすいチェックの方法や視点をご紹介します。

Check

生きものの季節ごとの活動を把握する

公園管理者が行う定期巡回は、点検のルート・時間帯・作業担当が大体決まっています。巡回のルーチンワークの傍ら、鳥の声や昆虫の動き、植物の香りや彩りにも意識を向けて、年間の生き物の変化を追うことができるようになれば、あなたも立派な生き物調査員です。





秋

落ち葉が多くなった
紅葉も見納めかな
溝掃除しよう

カラスウリの実が赤くなった。
そろそろ冬鳥が渡ってくるぞ



冬

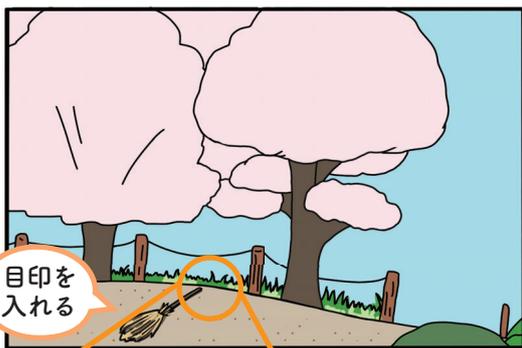
エナガの群れが
あの枝に集まっている
カイガラムシが
越冬してるかも

霜柱が立っている
凍って滑りそうな場所
はないかな

記録をしよう!

Point 1 写真をセットで撮る

Point 2 一言メモ



目印を
入れる

対象物があった
場所の遠景写真



対象物の近景写真

アプリや
メールで
社内共有



巡回で気付いたことを日報に残しておく
と、今後の管理計画や作業計画、
管理作業の際に参考になります。



日報	

(例)
サクラ並木にスマレが咲いていました。
保護のためにもゴミ拾いを徹底します。

Tips：鳥の繁殖時期について（具体例：シジュウカラ）

シジュウカラは人間に近い環境で活動し、年間を通して観察できる生きもののひとつです。特に冬から春にかけて活動の変化が大きくなるので、点検や作業の際には注意して見てみましょう。

12月頃～

オスが巣をつくる場所を選び始める



シジュウカラは樹洞（木の穴）の中でヒナを育てます。都市に古木は少ないので、洞のある公園の大木は巣作り候補として貴重です。

2月頃

パートナーを探し始める



せっぱつまると、植木鉢や石積みの目地、単管パイプといった変な場所に巣を作ることも…



3月頃

決めていた場所に巣をつくり始める



巣には小枝を敷き詰めた上にふかふかのコケを乗せて産座にします。コケの代わりにお散歩犬のブラッシングした毛を集めて敷き込むことも。

4月頃

子育てを始める



子育て上手な夫婦は植栽管理の強い味方。4月～7月上旬までの間に複数回卵を産み、ヒナの餌に毎日大量の芋虫を捕まえて運びます。知らないふりしてそっと見守りましょう。

公園・緑地の植栽点検・講習のご依頼は株式会社エコルまで！



発行元 株式会社エコル
東京都港区高輪 3-4-1 高輪偕成ビル8階
03-5791-2901 03-5791-2902

過去の記事も確認できます！

都市樹木研究室のHPのQRコードはこちらから

